

<1月のこよみ>

- 1日 元旦
- 2日 書初め
- 4日 官庁御用始め
- 6日 小寒
- 7日 七草
- 11日 鏡開き・蔵開き
- 15日 成人の日
- 16日 やぶいり
- 20日 大寒
- 27日 国旗制定記念日(明3年)

町だより

広報こすど

発行所 小須戸町役場 ☎ 3111
 毎月1日発行 印刷所 玉庭印刷所

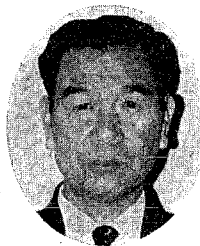
人口のうごき

(48.12.1 現在)
男 5,140 (± 0)
女 5,534 (- 8)
計 10,674 (- 8)
世帯数 2,270 (± 0)

No. 10 1/1
 昭和49年

年頭のあいさつ

町長 五十嵐重雄



明けましておめでとございます。
 昨年からの異常な物価高騰に、追い打ちをかけるかのような石油騒動は、日本の産業経済の基盤を揺るがす不安を国民に与えております。

この経済の変革期を感じさせる新年を迎え、まづ思うことは、お互いに過去の経済生活を反省しながら、今年は生活安定のため、頑張らねばならない年だということであり

ます。年頭にあたり町民のみならずのご健勝をお祝い申し上げますと共に、抱負の一端を申し上げます。抱負の一端を申し上げます。抱負の一端を申し上げます。

まづ本年は次の四つを基本方針として考えております。

- 一、生活環境の整備
 従来に引き続き道路、下水の整備をして住みよい生活環境と明るい町づくりを努力します。
- 二、福祉施策の推進
 (一)老人福祉については、医療扶助の所得制限撤廃と福祉施設の充実
 (二)児童福祉については、矢代田保育所の新築と新保児童遊園の設置



- (三)乳児妊産婦については、医療扶助の所得制限撤廃
- 三、社会教育の振興
 (一)公民館を新築して、社会教育の拠点とすると共に、行政と一致した運営を図ります
- 四、効果的に町民から信頼される行政の執行
 (一)住民要望を的確に把握して即応した施策を推進します
 (二)経費を節減して最大の行政効果を上げるため努力します

最後に今年もより一層のご支援とご協力をお願いいたしますと共に、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のあいさつといたします。

私は町長就任以来「町民のための町政」は住民総参加が原則であると信じ、住民が積極的に町政に参加し、活力ある明るい町づくりのために努力してまいりました。今後も住民生活を優先として、今後細かい行政をおし進めたい所存であります。

水田線の

ガス工事が完成

町営ガスの供給改善事業として通産局の認可を受けた水田線のガス工事が、このほど完成しました。

この工事は町が白根市の藤崎兄弟商會と工事契約を結び水田線の低圧ガス管、径が一〇〇耗で延長一、三〇〇米、総事業費は六百拾万円となっております。

しかし、いつも申し上げておきますとおり、町の自主財源は予算総額の二〇%程度で他は、交付税と国県の支出金であります。当然の結果として、国県の予算編成方針が町の予算に大きく影響することになります。従って四十九年

度は政府の景気抑制型予算が町の計画事業に大きな影響をおよぼすとも見られますので関係機関と連携を密にして事業遂行のため最大の努力をいたします。

これにより川通地区三部落(供給戸数一六四戸)の供給が大変円滑になりました。